

代表的な工夫例を具体的に紹介します。

※色弱者の見え方はシミュレーションツールによるものです。
すべての色弱者がこのように見えているわけではありません。

事例 1 文字の強調



悪い例

(問題点)

赤文字と黒文字が同じように見え、強調していることがわかりにくい。

○一般色覚者の見え方

下の**注意事項**をよく
お読みください。

○色弱者の見え方

下の**注意事項**をよく
お読みください。



良い例

(改善点)

赤文字をオレンジにして見やすくし、さらに書体の太さを変えて強調する。

○一般色覚者の見え方

下の**注意事項**をよく
お読みください。

○色弱者の見え方

下の**注意事項**をよく
お読みください。

補足

(その他の工夫例)

赤文字+別の要素で、強調していることを表現できます。

○赤文字はそのままで線を引く

下の**注意事項**をよく
お読みください。

○白抜きにする

下の**注意事項**をよく
お読みください。

○背景に目立つ色を網掛けする

下の**注意事項**をよく
お読みください。